

2017年3月25日

アジア共同行動日本連絡会議 御中

被爆二世の会 代表 寺中正樹

アジア共同行動日本連絡会議の第22回総会の開催、おめでとうございます。

平素は被爆二世の会の活動にご尽力頂きありがとうございます。特に毎年広島で行っている8・6青空集会には韓国の青年・労働者を初めたくさんの方にご参加頂き、共に核兵器廃絶・侵略戦争反対の集会を作り出すことができ、感謝しております。

2011年3月11日に起きた東日本大震災により東京電力福島第一原発が重大事故を起こしました。事故直後から日本政府や原発推進勢力は被曝の影響を過小評価し、福島第一原発事故の被災者を被曝者として援護しようとしません。そればかりか、安倍政権は原発の新增設、再稼働、輸出を推し進めています。山口県では上関に新規の原発建設計画があり、国も県も町も電力会社も諦めていません。私たちは祝島島民らと共に上関原発建設計画を撤回させるため様々な取り組みを行っています。

今年は特に岩国での反戦・反基地の闘いが重要になります。現在、岩国基地の米軍機数は約60機、軍人・軍属などは約6400人です。しかし今年7月以降、神奈川県厚木基地から空母艦載機が61機、軍人・軍属が約3800人、順次移転しようとしています。移転後、米軍機は倍増の約120機、軍人・軍属約1万人超となり、東アジア最大級の米空軍基地に大強化されようとしています。決して許してはなりません。

昨年、岩国で行われた2016岩国行動では、さまざまな方から米軍基地反対、侵略戦争反対という力強い意思を聞くことができました。また先月は韓国の青年・労働者と岩国市民が共に米軍基地に向かって抗議の声を上げました。こうした取り組みができるのも貴会がアジアの人々と信頼関係を作り、真の平和を共に築こうとしているからです。今後もアジアから核の恐怖と米軍基地を撤去させる闘いを共に行いましょう！

総会のご盛会を祈ります。